

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

チチヤス株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市大野338-1

(3) 業種

0912 乳製品製造業

(4) 従業員数

250人

(5) 事業所位置図

別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成14（2002）年度を基準とする平成26（2014）年度から平成28（2016）年度までの3年間とする。（省エネ法第15条関係中長期計画書と同様）

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進する事により、持続可能な社会作りに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・新エネルギーの導入促進
- ・環境にやさしい製品の供給
- ・廃棄物の排出抑制
- ・社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成14年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素	燃料の使用		11,115	3,894
	電気事業者から供給された電気の 使用		3,277	9,894
合 計			14,392	13,788

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成14年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素	廃棄物の焼却		379	0
合 計			379	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成14年度	直近年度 平成25年度
メタン	工場廃水の処理		32	0.31
一酸化二窒素	燃料の燃焼（ディーゼル機関）		42	1.24
	工場廃水の処理		57	2.85
	廃棄物等の焼却		7	0
HFC PFC SF ₆				
合 計			138	4.40

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
総排出量				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位：ヨーグルト換算生産量 (k L)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位置 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成14年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	14,392	48,752	0.295	-1.2	13,300	44,500	0.299
非エネルギー起源CO ₂	379	48,752	0.008	100.0	0		
メタン	32	48,752	0.001	96.6	1	44,500	0.00002
一酸化二窒素	106	48,752	0.002	95.9	4	44,500	0.00009
フロン類	0				0		
総排出量	14,909	48,752	0.306	2.2	13,305	44,500	0.299

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油の使用量を4.4%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・自家発電装置の停止 ・高効率ボイラーへ更新 ・生産ラインの合理化
2	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型電気機器への更新 ・高効率照明への更新 ・高性能インバーター機器への更新 ・冷却設備の断熱強化 ・生産ラインの合理化
3	廃棄物排出量の削減	廃棄物の排出量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・容器リサイクル法の推進による食品残渣の軽減 ・廃棄物のリサイクル ・生産工程の歩留まり向上
4			

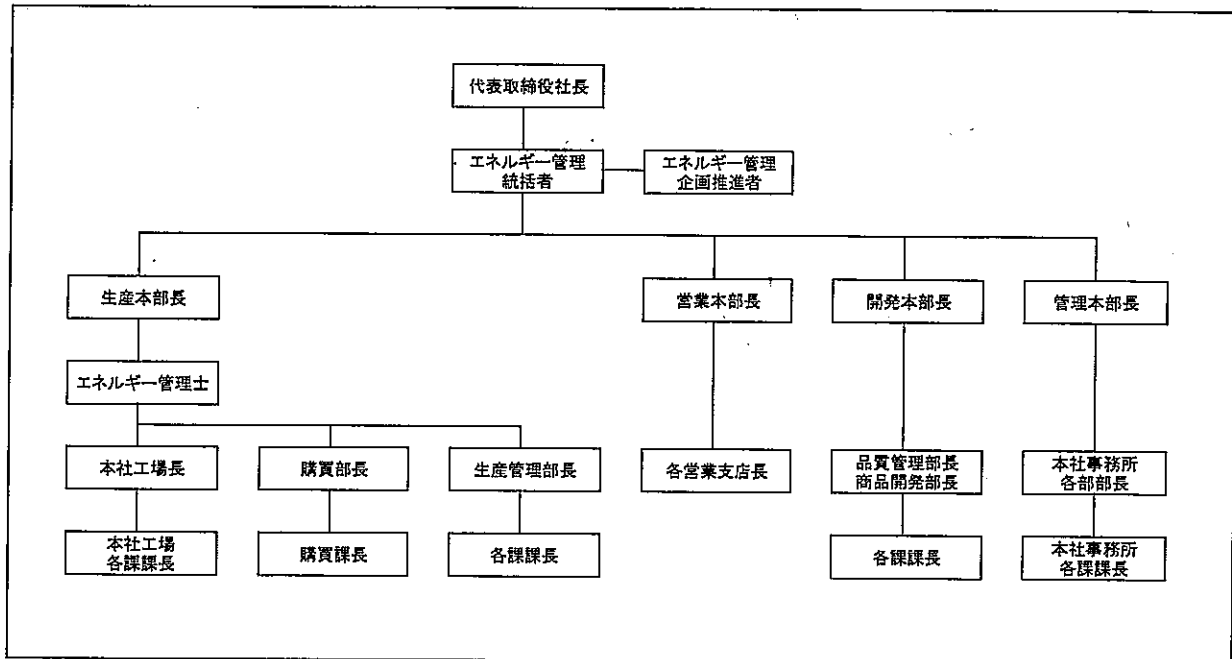
※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 環境に配慮した実践的な取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	再生紙の導入	使用量の60%を再生紙使用	名刺用紙を牛乳パック再生紙使用 コピー用紙を再生紙使用
2	その他		チームマイナス6%への参加
3			

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理士を中心として、毎年温室効果ガス削減計画書の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い必要に応じて会議を開き、評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画の公表

当社の本社事務所受付において要項が記載されているパンフレットを置き、自由に閲覧できるようにする。